

令和５年度第３回沼田市教育委員会会議録

１ 期日

令和５年６月２３日（金）

２ 場所

テラス沼田庁議室

３ 出席者

竹之内篤教育長、高橋昭紀委員、中村春夫委員、永井和恵委員、武藤英子委員

４ 沼田市教育委員会会議規則第１９条第３号による出席者

北澤昇教育部長、角田紀男教育総務課長、林武史学校教育課長、小野利明生涯学習課長、原澤秀樹文化財保護課長、生方純也スポーツ振興課長、栞原満博教育総務課長補佐

５ 開会宣言（午前９時３０分）

６ 会議録の承認

７ 日程第１ 会期の決定

会期は、６月２３日の一日と決定

８ 日程第２ 会議録署名委員の指名

教育長が永井和恵委員を指名

９ 日程第３ 教育長報告

（教育長）

教育委員の皆様には、先月から今月にかけて学校訪問で大変お世話になり感謝申し上げます。学校訪問で気付いた点があれば随時お知らせいただきたい。また、年度が変わって３か月が経過するが最近気温の変化も激しいので委員の方々も健康管理にご留意いただきたい。

次に６月議会について報告させていただく。６月６日に開会し１５日に閉会した。一般質問では５名の議員から１０項目の質問があった。内訳は、学校教育課７項目、生涯学習課１項目、文化財保護課２項目だった。

６月の定例校長会の指示伝達事項について報告したい。

○教育課程の管理について

・現在実施している指導主事訪問をいかに生かすかについて

- ・地域との連携協働や地域の教育力の活用について
- 人事管理について
 - ・将来を見据えた管理職の育成について
 - ・教職員の意欲を高め、能力を一層発揮させることについて
- 服務規律の確保について
 - ・体罰や不適切な指導の防止について
- 安全安心の確保について
 - ・めりはりのあるマスク着用について

(高橋委員)

毎週学校訪問させていただいている。少子化が進み空き教室が目立ってきており、学校側の管理も大変と思う。今後、先を見据えて小中一貫校や学校の再編がなければ学校建物の縮小も必要と感じた。また、引き続き新型コロナウイルス感染症対策に気を付けてもらいたい。

(中村委員)

先般、奈良古墳群と横塚工場適地の発掘調査について、職員に丁寧に説明してもらい感謝申し上げます。利根中学校の学校訪問では、新卒の先生の授業に初々しさを感じた。自分自身、中学生のときの新卒の先生と今も交流が続いている。新卒の先生は中学生と年代も近いので、自分たちのように生徒との交流が長く続くような先生になってもらいたい。

(永井委員)

池田小学校と池田中学校を訪問させていただいた。池田中学校の校長先生は生徒から人気があり、生徒が気軽に声を掛け、校長先生も明るく応じていた。生徒数は少ないが明るい中学校と感じた。

(武藤委員)

学校訪問では先生が一生懸命教えていて、生徒も一生懸命付いて来る様子を見させていただいた。教員の働き方改革によって多忙な先生方の業務を分散させて、児童生徒に今まで以上に目が行き届くようになることを期待している。

(教育部長)

なし

- ・次回開催日
次回開催を、令和5年7月21日（金）午前9時30分から予定

(教育総務課長)

- ・教育行政に関する懇談会について
- ・沼田市学校再編に関するアンケート結果について
- ・7月の主な行事予定について

（高橋委員）

アンケート調査結果について、やはり少人数で学校を運営するよりも、一定の規模で切磋琢磨させることも重要。統廃合によって通学手段の課題があると思うが、学校数が多ければ経費もかかるので、少人数の学校は統廃合を進めた方が良いと思う。

（中村委員）

アンケート結果にもあるように、統廃合はやむを得ず進めていくことになると思った。安全な通学のためにも、スクールバスの運行による通学手段の検討が必要と思う。

（永井委員）

統廃合に対して大きく反対の意見が少なかったと思った。皆さんが必要を感じていると思った。

（武藤委員）

統廃合はやむを得ないとする意見が多く、親御さんもすごく気にしていると思った。小中一貫校の成功事例を参考にしてもらえれば、良い学校を作る近道になると思う。

（学校教育課長）

- ・ 中体連春季大会の結果について
- ・ 夏季休業中における完全休業日について
- ・ 教育支援センター「きずな」の取組について
- ・ 令和５年度沼田市中学校国際交流事業オンラインプログラムについて
- ・ 学校部活動の地域連携・地域移行について

（高橋委員）

教育支援センター「きずな」に何人通っているのか。

（学校教育課長）

現在の入級者は５名又は６名で、毎日通っているのは１名いるかいなかである。

（高橋委員）

保護者に対する悩み相談やアドバイザーによるサポートが重要なので、アドバイザー等の人員を増やしてもらい、不登校を少なくして改善できればと思う。

（中村委員）

部活動の地域移行は大変だと思うが、子ども達のためにしっかり取り組んでもらいたい。中学生国際交流事業は将来に役立つことであり、これまでよりも多くの中学生が参加できるので良い取組だと思う。

（永井委員）

部活動の地域移行は、高齢化が進んで指導者の確保が大変な地域もあると思う。

(武藤委員)

特定のスポーツが盛んな地域もあるので、地域の人とよく話をしながら進めてもらえればと思う。また、悩み相談サポートでは、保護者が悩み事を発信できればいいが、発信できない保護者もいると思うので、サポートする上での課題と感じた。

(生涯学習課長)

- ・市民ハイキングについて
- ・ぬまたネイチャースクールについて

(文化財保護課長)

- ・歴史資料館第21回企画展「沼田の災害」について

(スポーツ振興課長)

- ・令和5年度沼田市民ダブルステニス大会の結果について
- ・第52回沼田市民バレーボール大会について
- ・第43回市民ソフトボール大会について
- ・沼田市民プールのオープンについて
- ・第70回市民大運動会の中止について

10 日程第4 議案第6号 沼田市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について

議事の概要

沼田市学校給食センターの円滑な運営を図るために設置されている運営委員会
の委員の委嘱について議決を求めるもの

教育総務課長が議案書添付資料により説明

異議なく原案のとおり決定

11 閉会宣言（午前10時18分）